

## 【院長挨拶】

月日の流れは早いもので、今年も半年を過ぎて、暑さ厳しい季節となりました。気象の長期予報では、この夏はこのほか気温が高いと予想されており、聞くだけでもげんなりしてしまいます。夏は高齢の方々にとっては体調管理の難しい季節です。また高齢者でなくとも熱中症や脱水による血栓性の疾患にも注意が必要で、こまめな水分補給を心がけたいものです。



さて4月から消化器内科・外科・整形外科のメンバーが変わりました。本号ではそのうちの2名の先生方に寄稿して頂きました。これからも医療の質の向上に努めていきたいと考えます。一方、1月から新体制の緩和ケア病棟もフル回転し、がん相談や地域の先生方との連携にも取り組んでおります。まだまだがん診療拠点病院として改善すべき点があると思いますが、着実に歩を進めているところです。また毎年8月には来年度の基幹型研修医の選考があります。新たに若い力が加わってくれるのが何より力強く感じます。

最後になりましたが、東住吉区医師会が創立70周年を迎えられるとのこと、誠にご同慶の至りです。これからも当院は地域の医療に貢献すべく、職員一同精進していきたくと考えています。

寺柿 政和

## 【第20回 東住吉ハートカンファレンスを実施】

7月13日、スイスホテル南海大阪にて第20回東住吉ハートカンファレンスを下記の内容で開催いたしました。参加者は近隣の医療機関様などより総勢約100名と多数お越しいただき盛況のうちに終わりました。

パネルディスカッション <テーマ：不整脈>

司会：池淵クリニック 院長 池淵 元祥先生

東住吉森本病院 循環器内科 西矢 大輔先生

<ディスカッション①>

東住吉森本病院 循環器内科 細見 興太先生

<ディスカッション②>

ひろせクリニック 院長 広瀬 真先生

特別講演

座長：東住吉森本病院 循環器内科 部長 坂上 祐司先生

「心房細動の最新治療

～エドキサバンの有用性とアブレーションの進歩」

福岡山王病院 ハートリズムセンター長

国際医療福祉大学大学院 教授 熊谷 浩一郎先生

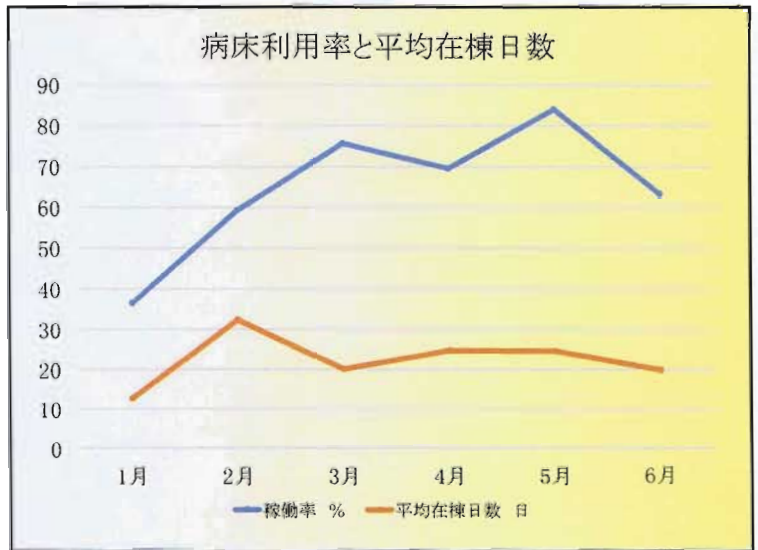


## 【平成29年4月 医師人事異動】

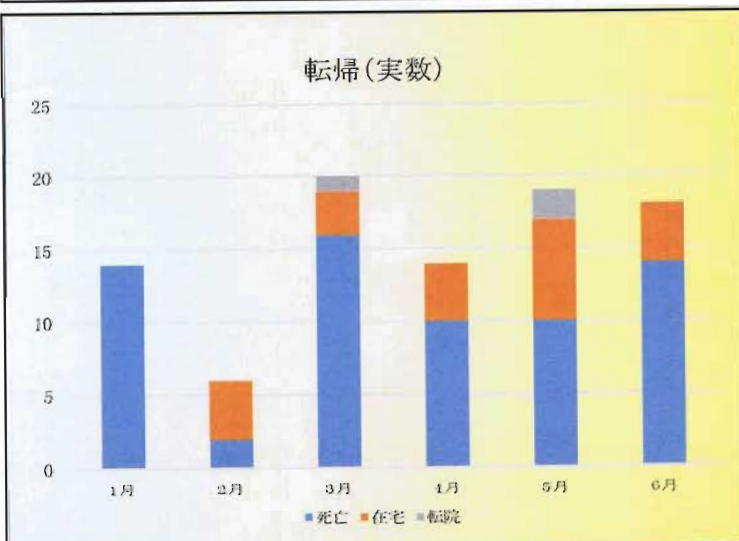
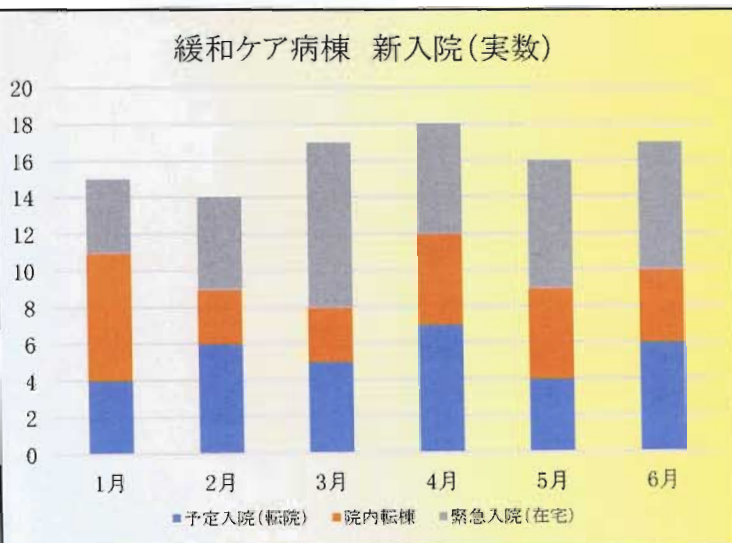
内科	入職 葛本 琢哉 消化器内科一般	松本 侑士 消化器内科一般	森口 明宜 消化器内科一般	
外科	入職 葛城 邦浩 消化器外科 肝胆脾臓外科	岸田 哲 消化器外科 消化器結核化学療法	倉島 夕紀子 一般外科	野村 宗央 一般外科
整形外科	入職 白川 裕一郎 一般整形外科 外傷	永井 洋輔 一般整形外科 外傷	森本 友紀子 一般整形外科 外傷	柴田 将伍 一般整形外科 外傷

緩和ケア科の大場一輝部長が着任され、半年が過ぎました。そこで今回は、1月から6月までの半年間の緩和ケア病棟の臨床統計を中心に紹介させていただき、日頃の連携にお役立ていただけましたらありがたく存じます。

緩和ケア病棟をご利用いただくために、毎週金曜日に入院検討会議を開催しております。会議メンバーは大場部長、藪さこ内科主任部長、江口緩和ケア認定看護師、松本がん性疼痛看護認定看護師、杉井 MSW の5名です。会議では、当院が定めている緩和ケア病棟への入棟基準と退棟基準をもとに、その週に受診された初診患者様と、院内・院外で待機されている患者様の病状や療養環境について確認し、入院日の調整を行い待機先へ連絡を入れております。患者様の症状等、御相談は随時お受けしています。



<緩和ケア病棟での七夕の様子>



## 外科副部長就任の挨拶

外科 副部長 葛城 邦浩

この度4月1日より外科副部長として着任いたしました葛城邦浩と申します。私は平成12年に大阪市立大学医学部大学院を卒業後、移転前の東住吉森本病院で4年間従事させていただいておりました。その後、ツカザキ病院・藤井寺市民病院・南大阪病院等で従事し今回再び森本病院でお世話になることとなりました。一般消化器外科（特に肝胆膵外科）を中心に診療を行っていますが、消化器癌に対する化学療法、救急診療も積極的に行っていきたいと思っております。



現在、外科手術は身体に負担の少ない鏡視下手術（腹腔鏡、胸腔鏡等）が増加、標準治療になるようになってきております。肝胆膵外科領域においても胆嚢摘出術を始め、現在では肝臓・膵臓の切除など高難易度な手術も鏡視下で行うようになってきております。当院でも患者様の状態、病気の状態等を十分検討し、安全・確実に手術が行えることを第一として、腹腔鏡手術を行なっていきたいと考えております。

また森本病院は地域密着型の病院であります。大学病院などの大病院ではなかなか行えない、患者様一人一人の診断から治療、その後のフォローあるいは終末期まで地域の先生方と連携を密に取らせていただきながら診療を行わせていただきます。

今後地域の皆様の一助となれるよう頑張っておりますので、何卒よろしくご挨拶申し上げます。

外科 副部長 岸田 哲

このたび4月1日より葛城先生と一緒に外科副部長として着任いたしました岸田 哲と申します。平成6年に大阪市立大学医学部を卒業、大阪市立大学第2外科に入局し、外科医としてはや24年目となりました。平成11年から今春までの18年間を大阪市立大学第2外科と大阪市立総合医療センター消化器外科で勤務してきました。



専門は消化管外科ですが、特に医療センター在職時には食道・胃・大腸の鏡視下手術の黎明期と重なり、質・量ともに満足できるトレーニングを受ける幸運に恵まれて、平成18年には内視鏡外科技術認定を取得することができ、現在まで鏡視下手術が私の得意分野です。近年、鏡視下手術は大腸癌ではほぼ標準術式になっていますし、胃癌においても早期癌などは標準手術になりつつあり、今後ますます普及・発展していくと思われまます。

民間病院での勤務は18年ぶりとなりますが、大学に負けないレベルでの癌に対する根治性、手術の安全性を追求しつつ、前任の金沢先生、西澤先生が森本病院に導入された鏡視下手術をさらに発展させていきたいと願っております。

また、手術だけでなく、大学の食道外科で学んできた、ナース、リハビリ、薬剤部、栄養部などの他職種のスタッフとの協働が、これからの医療にも重要であると信じておりますので、皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## < 感染経路別予防策とは >

感染経路別予防策とは、感染性病原体の感染経路遮断のために標準予防策に加えて行う感染対策のことを指します。それぞれの病原体の感染経路から空気予防策・飛沫予防策・接触予防策の3つに分けられ、経路を遮断することでより効果的な感染対策が実践できます。

## < 当院での取り組み >

当院では、職種に関係なく適切に経路別感染予防策が実践できるように病室前に院内共通のポスターを掲示し、経路別感染予防策を徹底するよう取り組んでおります。

### 空気予防策



### 飛沫予防策



### 接触予防策



### 空気予防策

空中を浮遊する飛沫核（5μm以下の微粒子）を吸い込むことで感染が成立する。

< 主な疾患 > 麻疹、水痘、結核、免疫不全者の带状疱疹など。

#### < 感染対策 >

- ・飛沫核が病室外に出ない空調設備のある個室に收容する。（可能なら陰圧室が望ましい。）
- ・やむをえず一般病棟の個室に收容する場合は、常に個室のドアは閉めて空気の移動をなくす。
- ・医療従事者は N95 マスクなどの高性能ろ過マスクを着用し患者に接触する。
- ・患者の咳嗽が強い時、病室から出る際は患者に飛沫予防のためにサージカルマスクを着用いただく。

### 飛沫予防策

咳やくしゃみとともに排泄される飛沫によって感染が成立する。約 1~2m 内の接触で感染が成立する。

< 主な疾患 > インフルエンザ、百日咳、風疹、流行性耳下腺炎、マイコプラズマ肺炎など。

#### < 感染対策 >

- ・個室での管理が推奨されるが、大部屋では 1m 以上離してカーテンで遮蔽して管理する。
- ・患者の 1~2m 以内でケアする際には、サージカルマスクを着用する。

### 接触予防策

直接接触または器具や環境により間接的に接触することにより感染が成立する。

< 主な疾患 > MRSA、多剤耐性緑膿菌、ESBL 産生菌、腸管出血性大腸菌、感染性胃腸炎、疥癬など。

#### < 感染対策 >

- ・器具（聴診器、血圧計、体温計）を専用化する。
- ・患者を密接にケアする際は、プラスチックエプロンや手袋を着用する。
- ・患者や職員がよく触れるベッド柵やドアノブはアルコールで定期的に消毒する。
- ・原則として個室隔離（個室確保できない場合は、集団隔離を行う。）
- ・やむをえず他の患者と同室の際は、器具の個別化、手指衛生、手袋・エプロンの着用などを徹底する。

## 編集後記

広報室 M

先日、長居公園でセミの幼虫が土から出て木登りをしているところを発見したんです！まだ日が照っているこんな時間に天敵カラスに見つかるなよー、、、っと思いつつバシッと撮影。しかし真横にいる巨人にも法まず木登りし、羽化にトライするその雄姿は大自然のパワーそのものでした。私も夏バテしている場合ではありません、とりあえず秋まで頑張りたいと思います（笑）



## 東住吉森本病院 地域医療連携センター

診察・検査・入院のご依頼、その他お問い合わせ  
(地域医療機関・施設さま専用)

メールアドレス：m\_chiiki@tachibana-med.or.jp

電話：0120-65-0343 FAX：0120-10-5260

【受付時間】 平日 9:00 ~ 20:00

土曜日 9:00 ~ 17:00

地域医療連携センター長 坂上 祐司

副センター長 井内 郁代